

令和5年次大学地域連携活動支援事業

日光門前通りにおける コトと町並みを結ぶ「設い」のデザイン活動

■ 学生代表者	宇都宮大学	大学院地域創生科学研究科・社会 デザイン科学専攻(建築)・修士2年	齊藤詩織
■ 指導教員	宇都宮大学 宇都宮大学	助教 講師	大嶽陽徳 遠藤康一
■ 連携する地域団体	NPO法人 日光門前まちづくり 日光東まちづくり推進委員会		岡井健 阿久津新平

HOTEL VIVA VIVA

アーテル喜路スポーツパレイ
日光霧降アイスアリーナ
Tochigi Pref. Nikko Kinokuni Ice Arena
2.5Km

OTEL A 日光

観光案内所

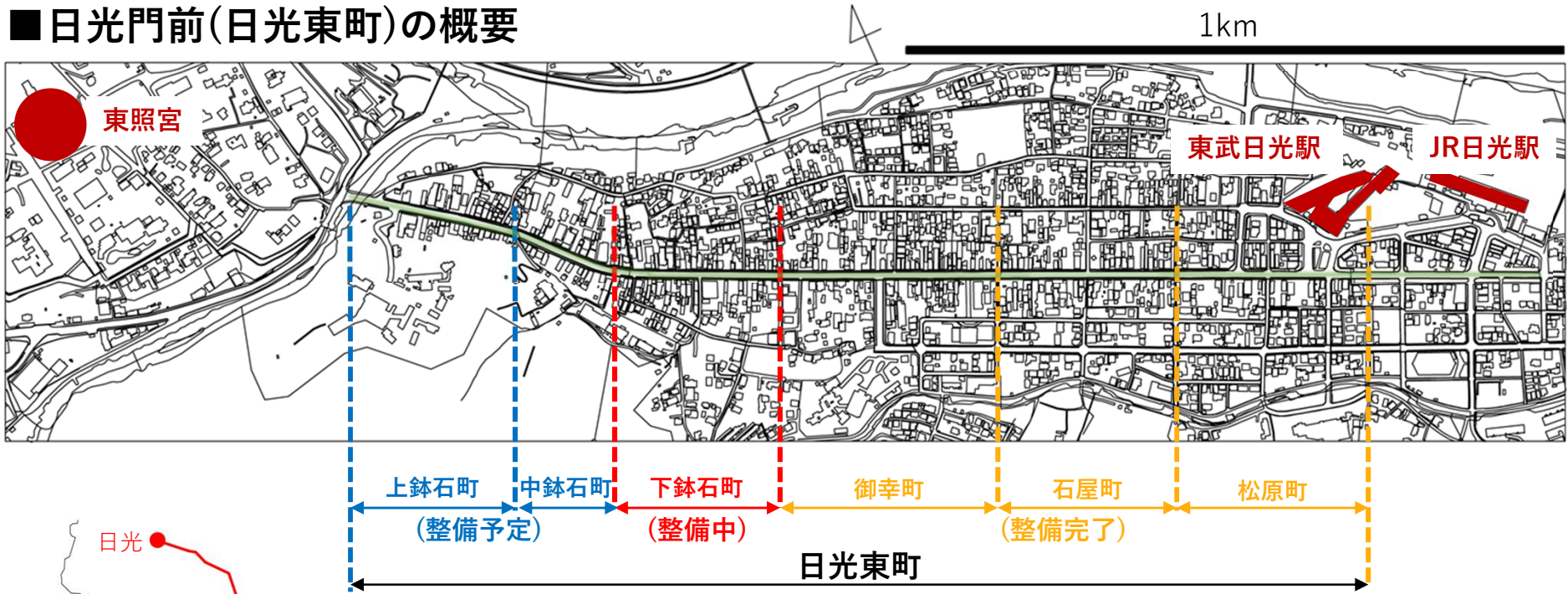


観光案内所
トイレ
おむつ交換所
おむつ箱
おむつ入れ
おむつ入れ

日光体育館 430m



■日光門前(日光東町)の概要



- 日光街道の終着点にあたる宿場町
- 日光門前町では平成15年から日光街道の道路整備が行われている(現在6区間中4区間目)
- 道路整備を契機として、まちづくり活動も行われている

■目的

現在は、伝統的な町家や商家が多く残る社寺側の3町内においても道路整備とまちづくり活動が進んでおり、魅力あるまちづくりを行っていく必要がある。一方で、整備が完了した区間ではまちなみの連続性や活用といった観点に関する課題も多い。

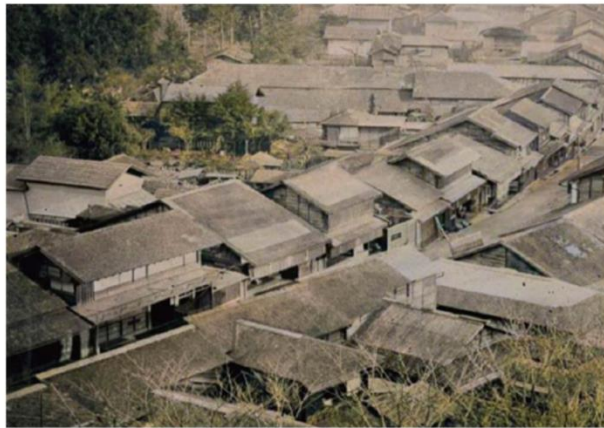
本活動では、それらの整備が完了した区間から課題を発見し解決することで、整備完了区間のまちなみの修景と活用を図るとともに、今後のまちづくり活動を行っていくための知見を得る。

重要なこと①：“設い”について

(2019年10月10日 河東義之氏によるレクチャー & ワークショップ)

◎町並みだけでなくコトづくりも重要 (双方をつくりだすことが重要)

⇒そのために“設い”が重要



130年前の日光の写真



市の絵図



設いの例

まとめ①

町並み (ハード) と営み (ソフト) の歴史

通りでの市 (いち=人の活動) が開催
仮説の小屋 (テント) の下に棚を設える



小屋が常設化、店蔵の下屋 (建物) になる



道路整備や建物セットバックによる下屋の撤去

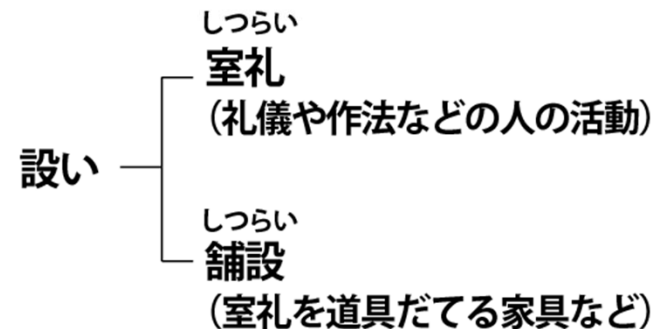


改めて、人の活動を受け止める“設い”が重要

まとめ②

“設い”とは、...

建築未満のデザイン (家具や道具)



コトと町並みを結ぶ“設い”のデザイン



建物前面の空間

建物前面の空間
(1m 自主セットバック区間を含む)

- ・ 商いや暮らしのための私有地
- ・ 歩道と連続した公共的空間



半公共的空間 (商いや暮らし+滞在)



設いの例

×

設い
(室礼+舗設)

- ・ 商いや暮らし、滞在という活動とともに、町並みも整えることができる
- ・ 家具などの建築未満のものなので、建物が竣工した後も制作しやすい

■昨年度の活動(前半)：参加プレイヤーの掘り起こし

実施内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
令和4年度 「設い」の設計ワークショップ、設計提案、現地調査	参加プレイヤーの掘り起こし		設計ワークショップ*	図面作成			地域報告会 学科報告会	図面修正
(地域団体の役割) 「設い」の設計ワークショップ補助、設計指導、現地調査補助	参加プレイヤーに関する情報提供		設計ワークショップ補助	施工技術の指導			地域報告会の準備	



日光東町まちづくり推進委員会への報告



日光市との意見交換



連携する地域団体との意見交換



日光の製材所へのヒアリング

- ・地域のプレイヤーや今後の活動の可能性を確認した
- ・プレイヤー同士の関係を整理
⇒参加プレイヤーの体制をデザイン

■昨年度の活動(後半)：日光門前通りの使い方ワークショップ

実施内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
令和4年度 「設い」の設計ワーク ショップ、設計提案、 現地調査	参加プレイヤーの 掘り起こし		設計 ワークショップ*	図面作成			地域 報告会 学科 報告会	図面修正
(地域団体の役割) 「設い」の設計ワーク ショップ補助、設計指 導、現地調査補助	参加プレイヤーに 関する情報提供		設計 ワークショップ 補助	施工技術の指導			地域 報告会 の準備	

実施日：2022.12.19~20
 参加者：岡井健(NPO法人日光門前まちづくり)
 日光市(都市計画課)
 大嶽陽徳 遠藤康一(宇都宮大学)
 安森亮雄(千葉大学)
 宇都宮大学修士一年 7名



ワークショップの様子



街歩きの様子



成果発表の様子

これまで提案・蓄積してきた多くのアイデアを元に、今後は設いを製作、設置して、社会実験等をするを考えている。そこで今回は、これまでのアイデアを整理しつつ、そのデザインの方向性を提案した。

設い設置の可能性

建物前面の奥行きと建物用途からみる通りの使い方

太鼓幕がつくる街並 運用○作成○



idobata nikko

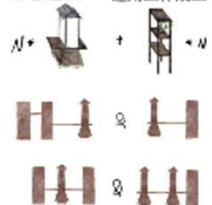
運用△作成△



くぐり灯 運用△作成△



古色蒼然 運用△作成△



- ・建物に接して店舗の活動を設いで表出させる
- ・活動による街並みの連続性の補強



微地形のふるまい

運用○作成△



フレームファニーチャー 運用△作成○
まちなかアルコーブ 運用○作成△



nikoichi nikko

運用△作成△



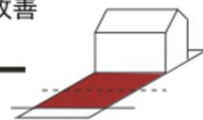
dining nikko 運用△作成△



- ・敷地奥の店舗の活動を設いで引き出す
- ・街並みの歯抜けを改善



建物前面：狭い



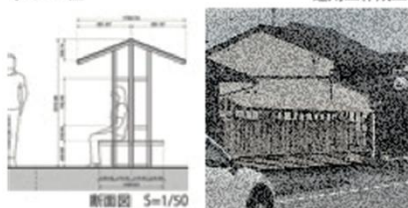
建物前面の空地：広い

idobata nikko 運用△作成△



祭りの杜

運用△作成△



- ・設いで通りと適度に距離をとる
- ・街並みにおける歩行者の滞留を促す

祭りの杜

運用△作成△



- ・前庭と通りに適度な距離を作る
- ・街並みの歯抜けを改善



■今年度の活動

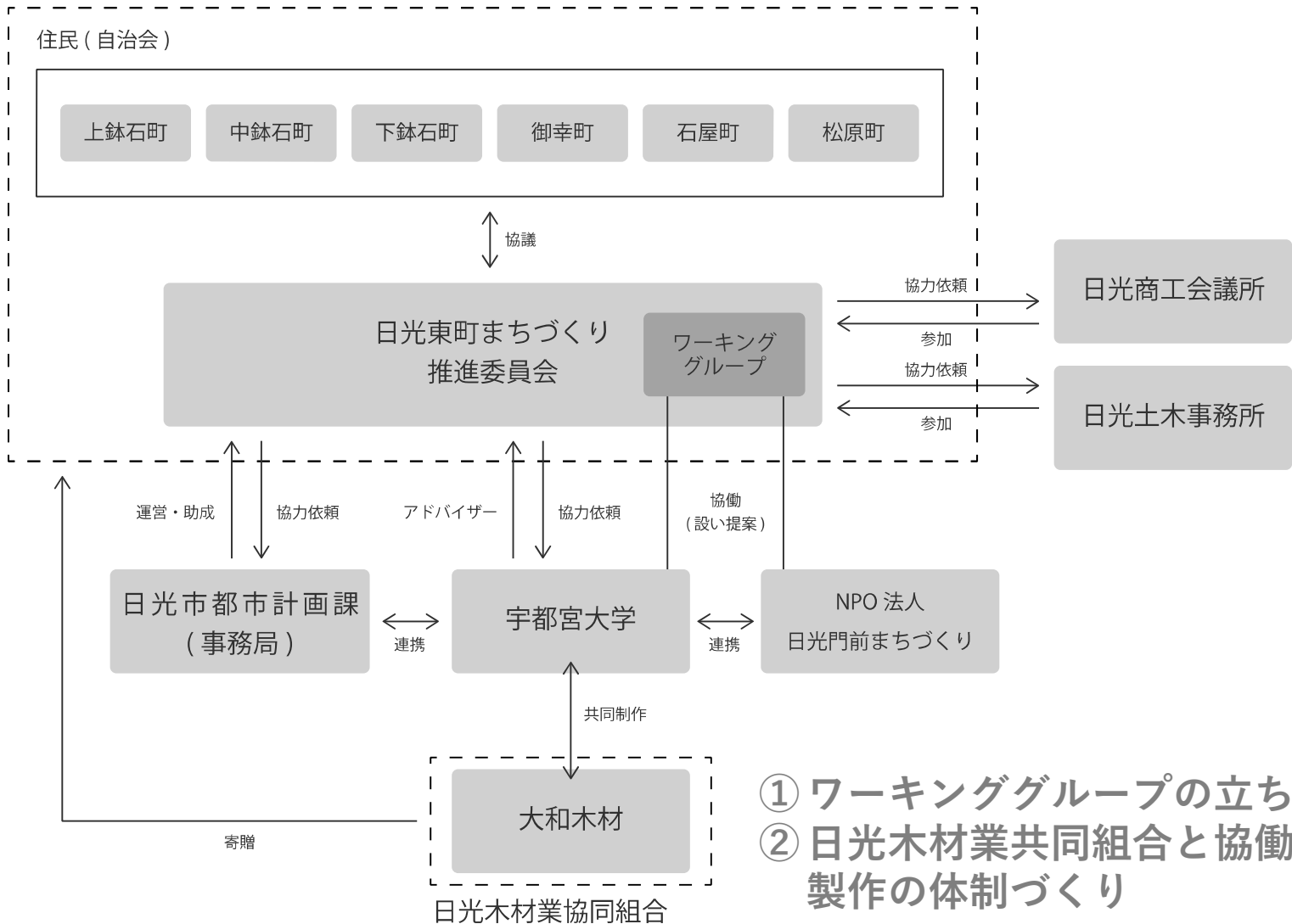
実施内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
令和5年度 「設い」の製作、設置 実験、その調査	敷地の 決定	「設い」の 設計・製作		設置 調査	実験とそ の（期間を 決めて2回以上）	設計 の 修正	地域 報告会 学科 報告会	設計の 修正
（地域団体の役割） 「設い」の製作補助、 設置実験補助	敷地の 決定	「設い」の 設計・製作補助		設置 調査	実験の補助、 補助		地域 報告会 の準備	

**敷地選定と設い製作のためにはそれを実際に行う実働部隊が必要
→組織や体制を立ち上げるための活動を中心に行う**

- ①ワーキンググループの立ち上げ
- ②日光木材業共同組合と協働の設い製作の体制づくり

■プレイヤーのネットワーク

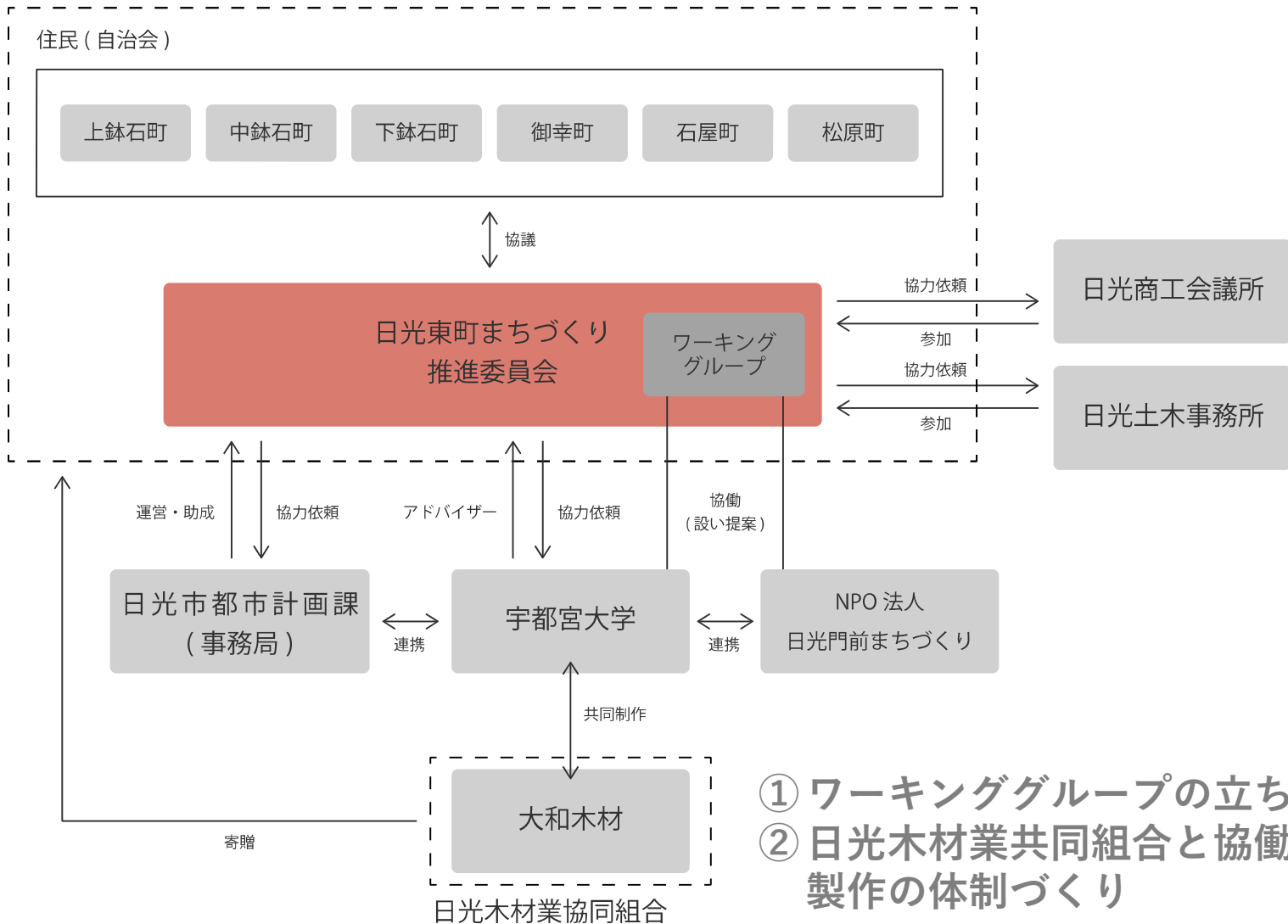
日光東町



- ① ワーキンググループの立ち上げ
- ② 日光木材業共同組合と協働の設い製作の体制づくり

■プレイヤーのネットワーク

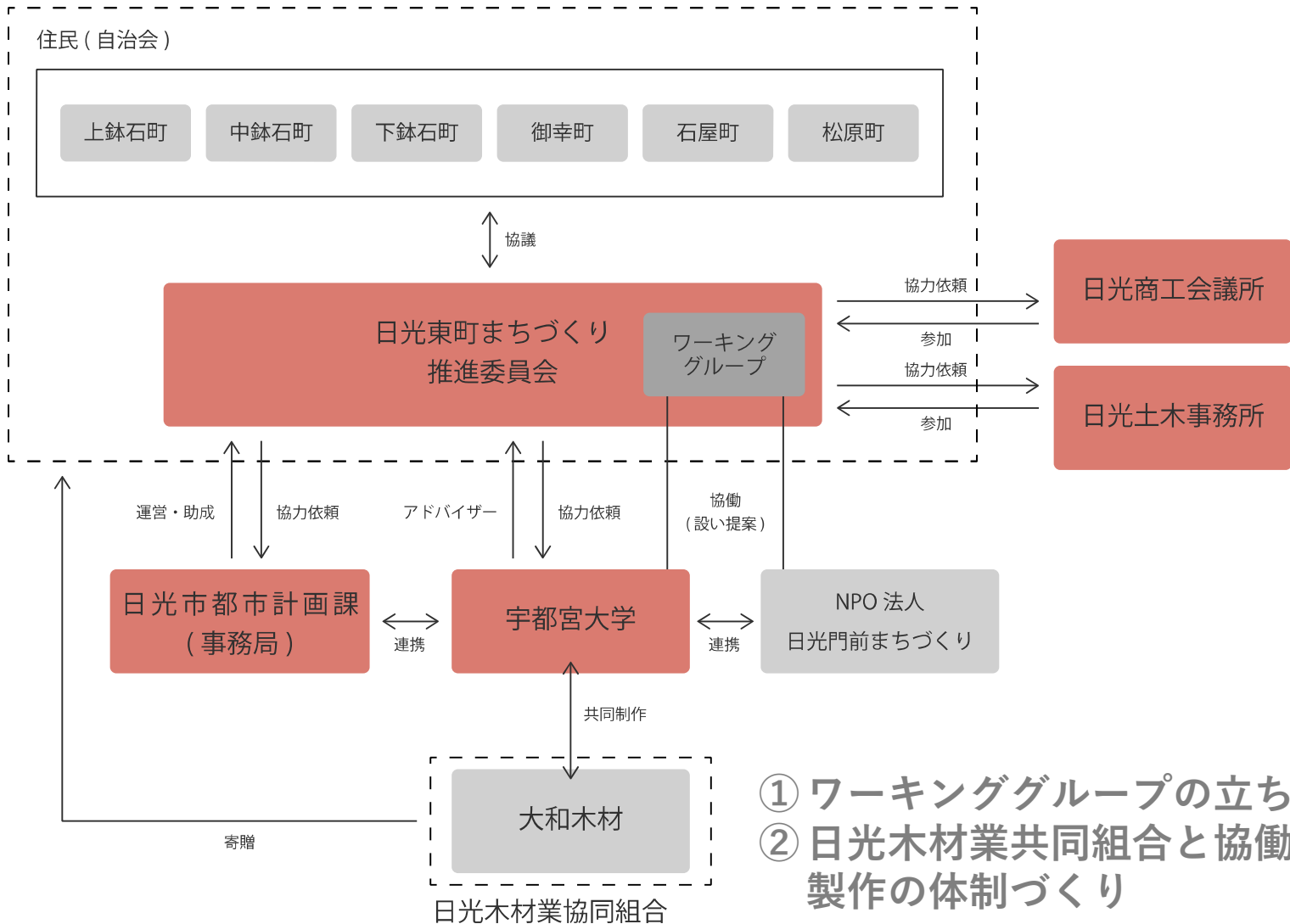
日光東町



- ① ワーキンググループの立ち上げ
- ② 日光木材業共同組合と協働の設い製作の体制づくり

■プレイヤーのネットワーク

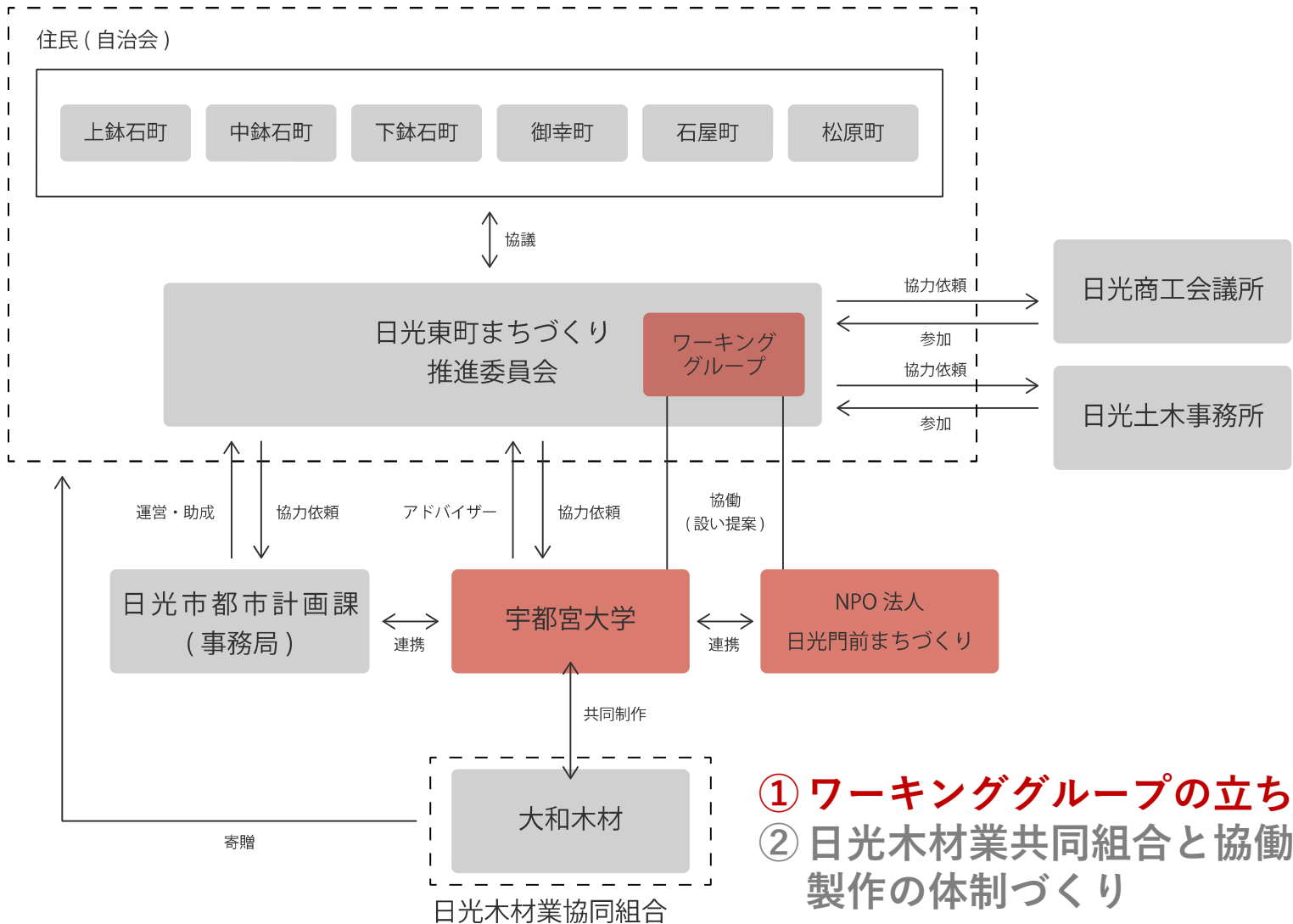
日光東町



- ① ワーキンググループの立ち上げ
- ② 日光木材業共同組合と協働の設い製作の体制づくり

■プレイヤーのネットワーク

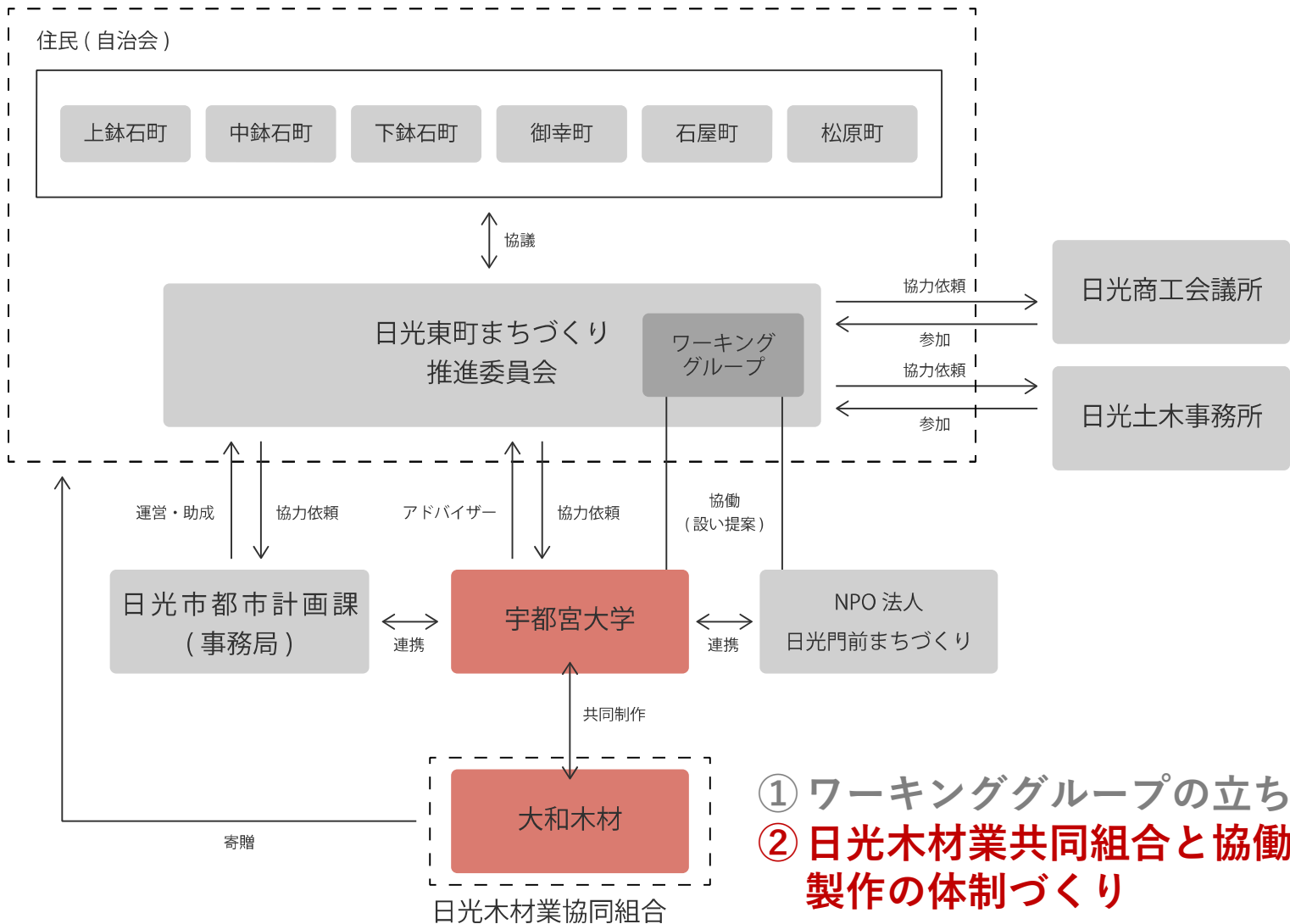
日光東町



- ① ワーキンググループの立ち上げ
- ② 日光木材業共同組合と協働の設い製作の体制づくり

■プレイヤーのネットワーク

日光東町



- ① ワーキンググループの立ち上げ
- ② 日光木材業共同組合と協働の設い製作の体制づくり

■ワーキンググループの立ち上げ

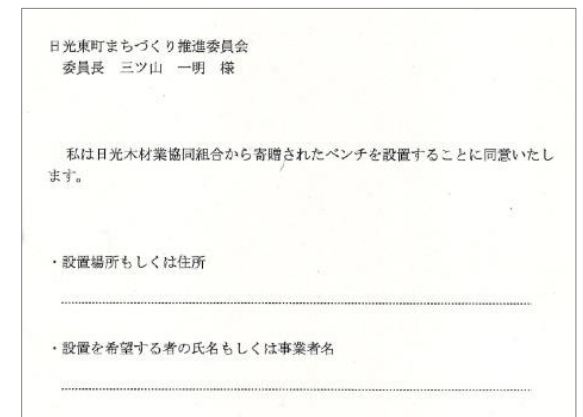
○日光東町ワーキンググループについて

日光東町まちづくり推進委員会の下、東町全体について継続的に議論し、社会実験などを通じてプレイヤーとして修景への取り組みを推進することを目的とした組織



ワーキンググループ会議の様子

日光東町



各町内に配布された募集用の書類

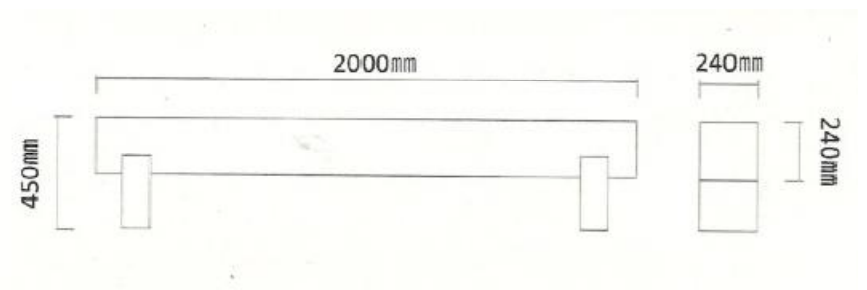
■日光木材業協同組合との設いづくり

○経緯

日光木材業協同組合よりJAS規格PRのため、日光市に2000×240×240(mm)の日光杉材を用いた設いの寄贈の申し出がある



日光木材業協同組合に加盟している地域の製材所・工務店と宇都宮大学が協働して設いを設計、製作する



設いはこの形に限らず、今後、まちなみを意識したデザインにブラッシュアップする

日光木材業協同組合が提示した設いイメージ

■これからのスケジュール

実施内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
令和5年度 「設い」の製作、設置 実験、その調査	敷地の 決定	「設い」の 設計・製作		設置 調査	実験とそ の（期間を 決めて2回以上）	設計 の 修正	地域 報告会 学科 報告会	設計の 修正
（地域団体の役割） 「設い」の製作補助、 設置実験補助	敷地の 決定	「設い」の 設計・製作補助		設置 調査	実験の補助、 補助		地域 報告会 の準備	

- ・地域の製材所と設いづくりのための打ち合わせが始まっている
- ・設いづくりのためのワークショップ開催を検討している
- ・それらの設いを用いた社会実験も検討している